



発行 日本共産党 春日部市委員会 春日部市粕壁東 6丁目7-12 電話 748-5159 FAX 748-5179

水道料金の値上げはやめよ! 「新水道事業ビジョン改定版」で値上げ案

春日部市上下水道部は「新水道事業ビジョン(経営戦略)改定版」を3月に発表しました。

「新水道事業ビジョン(経営戦略)改定版」では、改定の趣旨について、2013年に東日本大震災の被害を踏まえ、水道事業が将来にわたって継続していくための課題解決とそのため財政的な裏付けを示した「新水道事業ビジョン(経営戦略)」を策定しましたが、8年が経過し「物価上昇が急激に進んで、経費の見込みが実態と乖離した状況

にある」ことが改定の趣旨の一つとして説明されています。

管路の耐震化は2035年までに82%

この中で「管路の更新・耐震化」について「これまでよりペースを上げて進めてまいります」として、基幹管路の耐震管率は現在45・4%ですが、2030年までに62・3%、2035年までに82・5%まで耐震化をすすめる目標となっています。

一方で「経営の健全化」として民間委託のさらなる活用

と、ウォーターPPP(水道事業の民営化)の検討を進めることが盛り込まれています。

ウォーターPPP(水道民営化)については、国が強力に

推進していますが、長期にわたって民間事業者が水道事業

を丸投げするもので、料金が

高くなる、経費削減のためサー

ビスが低下する、事業の把握・

監視がしにくくなるなどの問題

点が指摘されています。水は生きていくうえでなくては

ならないものです。企業の利益の対象にすべきではなく、

安易な導入はやめるべきです。

今年度中に
水道料金値上げ

費用が増加するとして、料金改定案(値上げ案)が示されています。

①70%値上げ案 今後10年間純利益をプラスにできる

②50%値上げ案 当面は維持できるが、2032年には

純利益がマイナスになり再度の見直しが必要

③30%値上げ案 令和9・10年度はプラスになるが、その後は維持できない

3つの値上げ案を示し「料金改定を行わない場合、純利益

が令和8年度(2026年度)からマイナスになることから、

令和8年度に料金改定(値上げ)をおこなう」としています。

多額の費用が掛かる老朽化

対策や耐震補強工事は、国や

県が一定の負担をすべきです。物価高騰で暮らしが大変な時に値上げなど許されません。

*5月3日付赤旗日曜版は合併号のため、10日付は「新春日部」も休刊となります。



豊春小・宮川小の統廃合を検討 保護者からは戸惑いの声も

今年1月7日、「豊春地域学校規模適正化協議会（豊春のこどもたちの未来を考える会）」が設置され、豊春小学校と宮川小学校の統廃合について検討が進められています。

3月には両校の保護者に、統合の賛否や1学年当たりの望ましい学級数、統合する場合に配慮すべきことなどを問うアンケートが実施されました。保護者からは「庄和地域で統廃合がおこなわれてから次は宮川小学校かな」と、感じていたが、こんな風に突然やってくるんですか?」「統合に賛成か反対か、と言われても返事に困る」「そんな話が進んでいたの?という感じで、

保護者や子どもが置き去りにされた感が強い」など、戸惑いの声が上がっています。

小中学校とも 12〜24学級が適正

今年2月に市教育委員会がまとめた「春日部市立小・中・義務教育学校規模適正化に関する基本方針」では「学校は…集団の中で豊かな人間関係を築き、切磋琢磨しながら自主・自律性を育んでいく場」「こどもたちにとって望ましい教育環境を整えるためには一定の集団規模、学級規模が必要」として、小中学校とも12〜24学級が「適正規模」と規

定しています。

クラス替えが能力・個性発揮の機会に

学校規模適正化の必要性や期待される効果として
●クラス替えが新たな気持ちで取り組む機会となり、学ぶ意欲を高めたり、能力や個性を發揮できるようになる
●さまざまな友達とかかわることで互いに切磋琢磨し、刺激しあうことができる
●クラスの人数が増えることで、さまざまな立場の意見に触れることができる
●学校行事が効果的に実施できる

●学年や教科で複数の教員がいるため、教員間での研修・研究がおこないやすく、教員の資質向上に役立つ
●などを挙げ、少子化の中で学校の小規模化によるデメリットを解消する検討が必要としています。

十分な情報提供と合意形成を

学校規模適正化を行う上での留意点として「保護者や教職員、地域の方々に十分な情報提供を行い、学校規模適正化の必要性、効果や課題などについて、共通理解を得たうえで合意形成を図るよう努めなければならない」など、10項目の留意点が表示されています。

市内小中学校は約70%が築40年以上経過し、老朽化対策も喫緊の課題です。学校は子どもたちが1日の大半を過ごす学習と生活の場であり、地域にとっては防災拠点としても重要な役割を担っています。学校統廃合に当たっては子ども、保護者、地域の方々の十分な合意形成が必要です。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
5/3(日)みどり内科医院(内科系)緑町4-13-25TEL745-5000 竹田クリニック(小児科系)
武里団地3-23-103TEL735-4501 梅原病院(外科系)小淵455-1TEL752-2152
5/10(日)はまさきの郷クリニック(内科系)一ノ割3-16-9TEL731-7777 ふじばなファミリー
クリニック(小児科系)下柳420-1TEL797-8027 分娩館医院(外科系)備後西5-4-28TEL739-3883